

9月23日は手話の日(手話言語の国際デー)です

共生社会推進課 ☎048(473)1449

9月23日は手話施策推進法で定められた「手話の日」であり、国連で採択された「手話言語の国際デー」でもあります。この日は「手話を音声言語と対等な言語であることを認め、ろう者の人権が守られるよう、手話について社会全体の意識を高める」という意味を持っています。

当日は、全国各地の名所や施設などが世界ろう連盟のロゴの色であり、世界平和を表す青色にライトアップされます。市では、旧村山快哉堂を青色にライトアップするイベントを開催します。

詳しくは、市ホームページをご覧ください。

ライトアップ期間 9月23日(水)～30日(水) 夜間

ところ 旧村山快哉堂



▲市ホームページ

子ども手話教室を開催します

手話の日にあわせて子ども手話教室と旧村山快哉堂のライトアップ点灯式を行います。

とき 9月23日(水) 17時～17時45分

ところ 旧村山快哉堂 **対象** 小学3年生～中学3年生

定員 15人程度 **講師** 千葉 美香さん(志木市聴覚障害者の会)

申込み 9月1日(火) 12時30分から16日(水) までに市ホームページ内の申込みフォームで申込み

▼ライトアップ点灯式は18時から(どなたでも参加できます)、市広報大使カパルも参加予定です。

クビアカツヤカミキリにご注意ください

環境推進課 ☎048(473)1492

クビアカツヤカミキリは桜や梅、桃など主にバラ科の樹木内部に寄生し、樹木を衰弱させ、枯死させる危険性のある特定外来生物です。市内での生息は確認されていませんが、県では平成25年に初めてクビアカツヤカミキリが発見されてから年々被害が拡大しています。

クビアカツヤカミキリを見つけたら、まん延防止のため速やかに捕殺し、環境推進課へ情報提供をお願いします。

詳しくは、市ホームページをご覧ください。



▲市ホームページ

クビアカツヤカミキリの生態



クビアカツヤカミキリは、頭からお尻までの長さが4cm程度(触角は含まない)、胸部(首に見える部分)が赤色で、全体的に光沢のある黒色をしています。

幼虫は樹木内部で2～3年かけて成長し、その後、6～8月頃に成虫となって樹木の外に現れ、産卵します。

なお、クビアカツヤカミキリは特定外来生物に指定されていることから「持ち運ぶ」「飼う」「別の場所に放す」ことなどは法律により禁止されています。

クビアカツヤカミキリを見つけたら

成虫の場合はその場で踏むなどして捕殺または殺虫スプレーを直接噴射してください。

木の根元などにフラス(木くずとフンが混ざったもの)を発見した場合は、フラス上方の幹や枝にフラス排出孔と呼ばれる穴があるため、竹串や針金など先の細いもので取り除き、中にいる幼虫を駆除またはノズルを用いて殺虫スプレーを直接噴射してください。

